

本誌の発行などを通して安全な内視鏡外科医療を国民に提供することが本会の大きな責務の一つです。2004年に発足した技術認定制度の成功が折に触れ国内外から高い評価を得ているのも、未編集ビデオを匿名化して公平に評価する世界に誇れる制度を確立できたからです。今年度の技術認定試験の合格率は、十分な経験のもとベストビデオを提出していただいたはずであるにも関わらず、依然30%と最難関の試験です。それは地域と専門領域における指導者としての知識と安全な技術が要求されるからです。可否の判定は、難手術に挑戦するスーパードクターを求めているわけではなく、いかに安全で理にかなった標準的な手技を行っているかを審査員に伝えるかにかかっています。この認定証取得こそ真の意味での専門医であると考えています。もともと専門医の概念は一般的に「5年間以上の専門技術研修を受け、資格審査ならびに専門医試験に合格して、学会等によって認定された医師」とされています。

わが国における専門医整備に関わる活動としては、1981年の“学会認定医制度協議会”に始まります。その後、紆余曲折があり2001年、“専門医認定制協議会”と名称が変更された後、突然2002年に厚生労働大臣告示「専門医広告に関する基準手続き等」いわゆる外形基準9項目が提示され、これを満たせば専門医として広告できることとなった経緯があります。本会は2010年をもって一般社団法人となり研修機会の整備と手続きを踏めば、いずれも専門医を認定できることになりました。しかし、評議員会総会で報告の通り、世界に誇れる技術認定をいろいろな学会が認定している多くの専門医と同列のものではなく、“より特色のある技術認定に基づいた新たな認定と専門医”の公的認定が可能かどうか、担当部局と現在やり取りしている最中です。本格的な認定には法律の改正など、大きな壁があるのも事実ですが、不可能を可能にするつもりで何とか乗り越え、早急な技術認定の公的認知と診療報酬への反映を求めています。考えています。会員諸氏のご支援とご協力を切に願っています。

(北野正剛)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第16巻 第5号) 2011年10月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1部定価2,940円(本体2,800円+税5%)となります。

2011年 年々ぎめ予約購読料：17,160円(税込)(配送料：医学書院負担)

編集・発行：日本内視鏡外科学会(代表：北野正剛)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階

日本コンベンションサービス株式会社内

☎03-3503-5917 Fax 03-3508-1302 E-mail: jses@convention.co.jp(担当：野上)

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 18F-1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2011, Printed in Japan

発売：(株)医学書院(代表：金原 優)(本誌担当：土田, 田村, 安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/><http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23(振替口座00170-9-96693番)

本誌編集室直通 ☎03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (有)文京メディカル ☎03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●手術手技

吊り上げ鉤を用いた腹壁全層吊り上げ法による単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術下松谷 匠・他 長浜赤十字病院外科

●私の工夫

腹腔鏡下手術における体位固定の工夫—2 枚のマジックベッドを用いた方法天白典秀・他 山梨厚生病院外科

●症例報告

肛門管に浸潤した直腸癌に対する腹腔鏡下内括約筋切除術—自然肛門温存術を

目指した S-1 による術前化学放射線療法が奏効した 1 例

.....塩川洋之・他 東邦大学医療センター大森病院一般・消化器外科

胆嚢動脈閉鎖クリップが関与し興味ある経過をとった腹腔鏡下胆嚢摘出術後の

胆汁瘻の 1 例洞口正志・他 公立刈田総合病院外科

クモ膜嚢胞・腹腔腔内シャントを留置された高度肥満患者に対する

単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術池辺 孝・他 医療法人社団敬誠会合志病院外科

高齢者気腫性胆嚢炎に対して一期的腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 1 例大谷弘樹・他 三豊総合病院外科

十二指腸に嵌頓した胃原発 GIST に対して腹腔鏡補助下幽門側胃切除を

施行した 1 例柴田亮輔・他 福岡大学医学部消化器外科

腹腔鏡下に切除した小腸間膜原発 Castleman 病の 1 例川崎貴秀・他 大分大学医学部第一外科

腹腔鏡補助下左結腸切除術後に温存した下腸間膜動脈と腸間膜欠損部で

形成された間隙に生じた内ヘルニアの 1 例市村龍之助・他 北海道消化器科病院外科

海外文献抄録山本 学／北川雄光・他

●2011 年 (16 巻) 総目次

他に症例報告が数編あります。